

第五十八回
帝國議會
貴族院

盜犯等ノ防止及處分ニ關スル法律案特別委員會議事速記録第二號

昭和五年五月一日（木曜日）午前十時八分開會

●委員長（伯爵二荒芳徳君） 只今ヨリ本委員會ヲ開催イタシマス、前回ニ引續キマシテ、御質疑ノアル御方ハ當局ニ御質問ヲ願ヒタイト存ジマス

●山岡萬之助君 前回ノ委員會ニ於テ、私ノ質問ニ對シテ政府ヨリ御答辯ニナツテ居リマス所ニ依リマスレバ、第一條ノ第一項ノ規定スル所ハ、舊刑法ノ三百十五條ヨリモ狹イモノデアル、斯ウ云フコトデアッテ、現行刑法三十六條第一項、其事ヲ御答ヲシタノデハナイ、斯ウ云フ御説明デアッタノデアリマス、併シ舊刑法第三百十五條及其他ノ防衛ニ關スル舊刑法ノ規定ハ一括セラレマシテ、刑法ノ……現行刑法ノ三十六條第一項ハ出來テ居ルノデアリマスカラ、而モ其文字ガ極メテ廣イ規定ニナツテ居ッテ、舊刑法ヨリモ防衛行爲ハ非常ニ廣ク認メラレテ居ルノデアリマス、故ニ舊刑法ノ三百十五條ノ範圍内ニ於ケル規定デアルト云フコトヲ御認メニナル以上ハ、現行刑法三十六條ハ當然此案ノ第一號ヲ包括シテ居ルコトニナルノデアリマス、デアリマスカラ、私

ハ此案ノ第一號ノ規定スル所ハ、現行刑法第三十六條第一項ニ當然包括シテ居ルモノデアル、斯ウ云フ意味ノ御尋ヲシタ譯デアアルノデアリマス、ソレカラ更ニ其後ニ此第一條第一號ヲ研究シテ見タノデアリマス、實ハ此案ハ第一條ガ法規トシテハ一番大切ナモノニナラウト思フノデアリマス、二條三條以下ニナリマスルト刑罰ノ力ヲ以テ犯罪ヲ防遏スルト云フコトニ過ギマセヌノデアリマス、第一條ハ現行刑法典ノ其規定ヲ解釋シテ行クコトニナリマスノデアリマスカラ、是ノ規定スル所ガ適當ナリヤ否ヤニ依ッテ、將來防衛權ノ消長ニ關係スルノデアリマス、ソコデ之ヲ考究シテ見マスルト云フト、一ツノ疑問ガ生ジタノデアリマス、ソレハ政府ノ御説明ニナル所ノ舊刑法三百十五條ヨリモ、此第一條第一號ハ狹イト云フ、確カニ狹イノデアリマス、ソコデ舊刑法ノ三百十五條ノ條文ト對比イタシマスルト云フト、大變ニ狹クナツテシマウ、舊刑法ノ例ヘバ三百十五條ノ第三號デアリマス、「盜犯ヲ防止シ又ハ盜賊ヲ取還スルニ出タル時」斯ウ云フコトガ舊刑法三百十五條第二號ニアッテ、ソレガ此案第一條第一號デ

アリマス、サウシテ本文ノ方デアリマスカ、本文ノ方ハ舊刑法ニ於テハ「左ノ諸件ニ於テ已ムコトヲ得サルニ出テ人ヲ殺傷シタル者ハ」云々ト書イテアル、本文ノ方ノハ「諸件ハ已ムコトヲ得サルニ出テ」ト云フコトヨリ外ハ何モナイ、即チ舊刑法ニ於テハ已ムヲ得ザルニ出テ、盜犯ヲ防止シ、又ハ盜賊ヲ取還スルニ出テタル時、人ヲ殺傷スルコトヲ得、斯ウ云フ意味ノ條文ニナリマス、然ルニ此案ニ依リマスレバ、自己又ハ他人ノ生命、身體又ハ貞操ニ對スル現在ノ危險ヲ排除スル爲「盜犯ヲ防止シ又ハ盜賊ヲ取還セントスルトキ」云々、斯ウナル、サウスルト舊刑法ヨリモ非常ニ狹イモノニナツテシマヒマシテ、例ヘテ申セバ、建物ガ二ツアル、犯人ハ一ツノ建物ニ入ッテ泥棒シテ居ル、被害者ハ別ノ建物ニ居ッテ、遠クノ距離カラ眺メテ居ルノデ犯人ガ其處ニ入ルコトモ出來ナイ所ノ假リニ障壁ガアルトスルト、物ヲ持ッテ逃ゲルカラ擊殺スヨリ仕方ガナイノデ擊殺ス、斯ク假定スルト云フト、此案ノ規定デハ防衛ニハナラヌノデアリマス、何故カト云フト、自己ノ生命、身體又ハ貞操ニ何等ノ現在ノ危險ハナイ、唯盜犯

ヲ防止シタト云フコトダケデアアルノデアリマス、之ヲ舊刑法ノ三百十五條ニ照シテ見ルト、明カニ防衛行爲トシテ存在スル、即チ盜犯ヲ防止シ、又ハ盜賊ヲ取還スルニ出デタル場合ニ於テ、已ムヲ得ズ之ヲ爲シタルモノデアルトナリマス、遠イ所デアルカラ追カケテ行ッテモ間ニ合ハヌカラ、遠クカラ擊殺ス、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、サウスルト舊刑法ノ規定ヨリモ狹イ防衛權ヲ規定スルト云フコトハ、抑、此案ノ出發點ニ對シテ防衛權ヲ最モ能ク行使サセヤウト云フ爲ニ規定シテ行クト云フ、立法ノ精神ニ條文ハ合ハナイ、私ハ少クトモ舊刑法ノ三百十五條ノ程度ニハ行ッテ居ラヌケレバナラスト思フ、殊ニ現行刑法ノ三十六條ノ第一項ハソレヨリモ廣ク立派ニ出來テ居ル、ソレダカラ現行刑法三十六條第一項ハ「急迫不正ノ侵害ニ對シ自己又ハ他人ノ權利ヲ防衛スル爲メ已ムコトヲ得ザルニ出テタル行爲ハ之ヲ罰セス」、斯ウ云フコトデアリマスカラ、三十六條第一項ニ依レバ、私ノ今説明シタヤウナ、建物ガ二ツアルヤウナ場合ニ於テハ、明ラカニ是ハ無論無罪デアアル、ソレガ此案ニ依ルト云フト有罪デアルト云

第四部第一類 盜犯等ノ防止及處分ニ關スル法律案特別委員會議事速記録第二號 昭和五年五月一日

フノヂヤ、ドウモ、立法ノ趣旨ニ私ハ合致シナイト思ヒマス、其他ノ例ニ行テ第二號ヲ考ヘマス、矢張り同ジコトニナリマス、建物内ニ侵入シテ來ル人間ハ家宅侵入罪デアリマスカラ、堀ノ内ニ入ルト之ニ向テ防衛ヲシテモ宜イ譯デアアル、堀ニ登リ始メタ人間ヲドウシテモ入レナイヤウニスルト云フノデ、身體ニ傷害ヲ與ヘテモ已ムヲ得ナイ行動ナラバ何デモ宜イ譯デアアル、所ガ此案ニ依リマスルト、自分ノ生命、身體、貞操若クハ他人ノ生命、身體又ハ貞操ニ現在ノ危險ガ生ジタ場合ダカラ、堀ノ上ニ登リカケタカラ直ニ自分ノ生命、身體、貞操ニ害ガアルト云フ、現在ノ危險ガアルト云フコトガ果シテ言ヒ得ルデアラウカ、非常ニ疑問デアリマス、デ此案ヲ適用スルト云フト舊刑法ノ三百十五條ヨリモ大變狹クナッテ、現行刑法ヨリモ第一項ガ非常ニ狹クナルト云フノデ、ソコデ二項ト云フモノガ出來テ來テ、第二項ニ依テ神心喪失ノヤウナモノヲ無罪デアルト解釋シナケレバ無罪ニナラナイ、所ガ單純ニ常識論ヲ以テスレバ、ドッチニカ無罪ニスルト云フ論ガ出ルカモ知レマセヌガ、裁判ト云フコトニナリマシテ、此條文ヲ第一項ノ本文ハドウ云フ條件、第一號第二號、第三號ハドウダト云

フコトヲ、段々ニ法規ヲ研究シテ來ルト云フト、ナカ／＼ムツカシイ問題ニナリマス、ダカラサウムツカシクシテ參ルナラバ、立法ノ趣旨ト云フモノハサッパリ立タヌノデアリマスカラ、ソコノ邊ガ少クトモ舊刑法ノ三百十五條ヨリモ單純デナケレバナラヌ、本文ヲ、已ムヲ得ザルニ出デテ左ノ場合ニ於テ殺傷シタル者ハ之ヲ罰セズ、少クトモ其位ニナラナケレバナラヌト思ヒマスコレニ付テ先ヅ一應御説明ヲ請ヒタイト思ヒマス

●政府委員(泉二新熊君) 只今御質問ノ點ニ付キマシテモ、立案上相當ニ研究ヲ致シマシタ結果、此案ノヤウニナッタデアリマス、私ガ昨日、本案第一條ハ舊刑法三百十五條ヨリモモット狹クナッタモノデアルト云フコトヲ申上ゲマシタノハ、御手許ニ差上ゲテアリマス參考書ニ舊刑法ノ規定ガアリマ

スガ、參考書ノ一頁ノ三百十五條ヲ御覽下サイマス、其處ニハ「財産ニ對シ放火其他暴行ヲ爲ス者ヲ防止スルニ出テタル時」ト云フノガ一號ニアリマス、ソレヲ此案デハ除イタノデアリマシテ、サウ云フ場合ハ他ノ生命身體ニ對スル場合ト同ジヤウニ、現行刑法三十六條ノ原則デ行ケバ宜シイ、此案デハ最近ノ狀況ニ照シテ最モ必要ナ場合、

最モ迷ヒヲ防衛者ノ方面カラ見テ生ズルヤウナ場合ヲ想像シテ、教科書的ニ書クト云フダケデ、必要ニ應ズルコトガ出來ルノデアルト云フコトカラ一號ヲ除イタ、其意味ニ於テ舊刑法ヨリモ狹クシタト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、「已ムコトヲ得ザルニ出テ」ト刑法ニ書イテアリマスガ、此言葉ハ現行刑法三十六條デモ矢張り同ジ言葉ヲ使ッテ居ルノデアリマス、サウシテ其意味ニ付テノ疑問ガアルノガ、抑、又此案ヲ立テマスル必要ヲ生ジタ一ツノ理由デアアルノデアリマス、只今山岡委員ハ必要デサヘアレバ財産ヲ……、盜犯ヲ防止スル爲ニ人ヲ殺傷シタツテ、ソレハ正當防衛ニナルコトハ當然ダト仰シヤイマシタ、ソレハ山岡委員ノ學者トシテノ御見解ヲ基礎ニ致シマスレバ、其通り御考ヘニナッテ居ルコトハ御尤ダト

思ヒマス、又私モ一個ノ學者トシテノ……學究トシテノ見地カラ申シマスレバ此「已ムコトヲ得ス」ト云フ言葉ノ解釋ハ其通りデアルベキモノダト思ッタノデアリマス、併ナガラ昨日申上ゲマシタ通り此點ニ付テノ學說ハ一致シテ居リマセヌ、例ヘバ我國ノ刑法ノ泰斗トシテ、曾テ私共ガ師事シタコトノアリマスル或學者ノ如キモ、「已ムコトヲ得ス」ト云フノハ決シテ私共ノ考ヘテ

居ルヤウナ意味デハナク、本當ノ字義ノ如クニ、外ニモウ方法ガナイ、已ムコトヲ得ナイト云フ字義ノ通りニ解釋スベキモノデアアル、從ッテチヨット泥棒ヲ防グ爲ニ殺シテモ宜イト云フヤウナコトハ、已ムヲ得ザルニ出デタルモノトハ言ヘナイモノデアルト云フ解釋ヲシテ居ルノデアリマス、是ハ故ノ勝本博士デアリマス、又今日ノ刑法學ノ一法ノ泰斗ト見ラレテ居ル帝大ノ教授ノ如キモ、同様ノ說ヲ唱ヘテ居ルノデアリマス、殊ニ最近ニ於キマシテハ歐羅巴諸國ニ立案サレマスル刑法案ニ於テ、サウ云フ必要デサヘアレバドンナコトヲヤッテモ宜イト云フコトハ、ソレハ頗ル穩當ヲ缺クカラ、相當デナケレバナラヌ、防衛行爲ガ相當デナケレバナラヌ、妥當デナケレバナラヌト云フコトヲ條件ニシテ、正當防衛ヲ認メヤウデハナイカト云フ、サウ云フ說ガ出テ來マシテ、二三歐羅巴ノ刑法改正草案ニ、サウ云フ條件ヲ掲ゲルコトニナッテ居リ、又我國ニ於キマシテモ曾テ法制審議會デ定メテアリマスル現行刑法ノ改正案ノ綱領ト致シマシテ、其相當性ヲ以テ必要性ニ代ヘルコトニシヤウト云フコトヲ認メテ居ルノデアリマス、サウ云フコトカラ致シマシテ普通一般ノ人ガ、一體泥棒ヲ防グ爲ニ殺シテモ

宜イダラウカト云フヤウナ風ノコトニ付テ、迷ヒヲ懷クノハ無理ノナイコトデ、ソレハ山岡委員ヤ私共ノヤウナ専門家ノ方カラ見マスレバ、現行法ノ解釋上必要デサヘアレ

バ泥棒ヲ殺シタツテ宜インダト云フ風ニ、學者ノ意見トシテハサウ云フコトヲ主張スルコトハ自由デアリマスケレドモ、此法律ヲ

立テルニ付キマシテ、ソレガモウ當然ノコトデアル、明白ナコトデアル、疑問ノナ

コトデアルト云フ考デ以テ議論ヲシテ行クト云フコトハ、少シ穩當デナカラウト思

フノデアリマス、此處デハ一度ハ實ハ第一條ノ案ト致シマシテハ、「已ムコトヲ得ザル

ニ出テ」ト云フ文字ヲ使ツタコトモアルノデアリマス、此立案ノ經過カラ申上ゲマス

ト……、ケレドモソレナラ現行刑法ノ「已ムコトヲ得ス」、舊刑法ノ「已ムコトヲ得ス」

ト云フ正當ノ防衛ノ言葉ヲ繰返シタダケデアツテ、何ノ説明ニモナラスノデアル、ソレ

デ此案ノ第一條見タヤウナ事由ガアツテ防

ウ、斯ウ云フコトカラシテ此形ヲ採ルコトニナツタノデアリマス、是デ大體只今ノ御質問ニ對シテノ御答ハ致シタコトニナルト思

フノデアリマス
●山岡萬之助君 私ノ例ヲ擧ゲタヤウナ場合ハドウ云フモノニナルデセウカ、本案ニ依リマスレバ……

●政府委員(泉二新熊君) 之ニ當ラナイ場合ガ總テ無罪ニナルデハナイカ……有罪ニナルト云フ考ヘハナイノデアリマシテ、現

行刑法三十六條デマク行ケル部分ハアルト思フ、此案ニ書イテアルヤウナ條件ガ備テ

居ル時ニハ、モウ別ニ已ムコトヲ得ザルニ出デタモノデアアルカドウカト云フヤウナコ

トヲ問ヒ質ス要ハナイ、デ是ニハ當ラヌケレドモ、更ニ三十六條デ説明出來得ル場合モ

アルグラウ、又先刻チヨット御話ニナツタヤウナ此一條ノ二項デ以テ罰シナイト云フ場

合モアルグラウ、斯ウ思フノデアリマス
●山岡萬之助君 私ノ例示シタ建物ガ二ツアツテ、向フデ泥棒シテ居ル人間ヲ此方カラ

撃ツタ、生命身體ニ何モ害ガナイ時ニハ、サ

ニ委シテ置ケバ宜シイ、斯ウ思フノデス
●山岡萬之助君 只今泉二政府委員ノ御説明ニナリマシタヤウニ、竊盜ガ這入ッテ來タ、

物取リダケデ行クト云フ人間デアレバ、此法律デハ最早防衛權ガナイノデアリマス、物

取リニ來タ人間ニ對シテ防衛權ヲ與ヘルヤウニ此法律ヲ規定シテ置キ、サウシテ物取

リニ來タ竊盜ニ對シテ防衛權ガナイト云フ解釋ヲスルナラバ、何ヲ苦ンデ斯ウ云フ法

律ヲ作ル必要ガアルカ、斯ウ云フ結論ニ當然歸スルノデアアル、更ニ進ンデ今度強盜ノ

例ニ付テ御伺ヒシタイ、強盜ノ場合ニ於テ彼ハ常ニ人ノ貞操ヲ害スルモノデハナイ、

ソレハ事實デアアル、強盜ト云フモノハ暴行脅迫ヲナシマシテ人ノ自由ヲ侵害スル、ソ

レガ強盜ノ本質デアアル、人ノ生命、身體、貞操ヲ害スルト云フコトハ、強盜ノ本質デ

ナイノデアリマス、暴行脅迫ヲ以テ財產ヲ

ハ別トシテ、ソレハ現行刑法ノ三十六條デ假ニ宜イトシテ、私ハ宜イトハ思ヒマセヌ

ガ、強盜ノ場合ニハ此條文カラ拔ケルト云フコトニナツタラ、ソレハ全ク此立法ト云フ

モノハ何ニモナラヌト思フ、サウシテ強盜ト云フモノヲ之ニ入レヤウトスルノデアリ

マスルナラバ、自己又ハ他人ノ生命、身體、自由、貞操ニ對スル現在ノ危險ヲ排除スル、

斯ウナッテ來ナケレバドウシタツテ這入リヤウガナイ譯デアリマス、ダカラシテ此形ニ

於テ行キマシテモ、本文ニ於ケル所ノモノヲ個人ノ權利ニ對スル現在ノ危險ヲ排除ス

ル爲ニ、斯ウナレバソレハ總テノ場合ガ殆ド這入ルト思ヒマスケレドモ、斯ノ如ク狭ク

シテシマウト云フト往々ニシテ這入ラナイモノガ出來テ來ハシナイカト思フノデアリマス、

左様ナ次第デアリマスカラ必要性トカ妥當

性トカ云フコトニ倣テ見解ガ分レテ居ッデ、

是故ニ茲ニ已ムコトヲ得ザルト云フ意味ヲ説

明スル爲ニ、本文ノ他人ノ生命、身體、貞

操ニ對スル現在ノ危險ヲ排除スルト、斯ウ

云フコトヲ書カレタト御話ニナル以上ハ、

斯ウ云フ窮屈ナコトヲ御書キニナラヌデ、

即チ此法律ハ盜犯防止ヲ極ク人ニ分ルヤウ

ニ書カウト云フ譯デアリマスカラ、必要性

ト云フコトデ不都合デアラナラバ、妥當性

ト云フコトヲ文字ニ現ハシタラ宜イ、相當ナル程度ニ於テ云々トカ幾ラモ書キ様ガアラウト思ヒマス、而シテ獨逸ノ刑法ニ於ケル此參考書ノ二頁ノ五十三條ノヤウニソ寧ロ現行刑法三十六條第一項ヲ書直シタ方ガ單純デ宜イト思フ、現行刑法三十六條ノ本文ノ第一項ハ其儘トシテ第二項ヲ此ヤウニ書直シタラ大體含ンデシマウト思フ、是ハ第二段ノ問題トシテ御尋ネスルノデアリマスガ、第一段ハ強盜ノ場合ニ、強盜ノ本質トシテ來タ場合ニ於テハ、此條文ニ依ッテ、此案ノ第一條ニ依ラナイト云フコト、次ニハ今ノ妥當性、相當性ト云フコトヲ以テ此第一項ヲ御示シニナッタ方ガ適當デハナイカ、其點ニ對スル御所見ヲ御伺ヒシタイ

●政府委員(泉二新熊君) チョット誤解ガ

アルトイケマセヌガ、本條ノ第一項ハ犯人ヲ殺傷シタト云フコトガ非常ニ重要ナ問題デアルト云フコトヲ御注意ヲ願ヒタイ、泥棒ヲ防グ爲ニ殺傷マデシテ宜イカト云フコトニナッテ初メテ問題ニナル、サウ云フ問題ダケヲ此方デ解決スルト云フコトデアアル、デアリマス、ダカラ泥棒ガ二軒ノ家……泥棒ガ一軒ノ家ニ入ッテ居ル、其奴ヲ防グ爲ニ已ムヲ得ナイトキニ正當防衛ガ出來ナイ

カト云フ御尋ネガアリマシタガ、ソコニ初メテ問題ガ起ルガ、殺傷ト云フコトニ至ラナイ程度ノ防衛ヲスルト云フコトハ總テ此第三十六條ノ規定デ行クノデ、正當防衛ガ出來ナイト云フ風ニ御答ヘシタ趣意デハアリマセヌカラ、ソコハ誤解ノナイヤウニシタイノデアリマス、ソレデ殺傷ヲシテモ尙ホ斯ウ云フ條件サヘアレバ正當防衛ト認メルノダゾト云フコトヲ言ハウト云フノデ、強盜ノ場合ニ、強盜ガ身體ニ對シテ、例ヘバ強盜殺傷、刑法二百四十條デアルトカ、二百四十一條デアルトカ云フヤウナ強盜ヲスル、或ハ二百三十六條ノ普通ノ強盜デアリマシテモ、身體其モノニ對シテ暴行ヲシテ來ルト云フ場合ニ於テ、ソレ相當ノ防衛ヲスルト云フコトハ、兎ニ角是ハ刑法ニ於テ認メテ居ル事柄デアアルデアリマス、併シ強盜デモデス、單ニ脅迫ヲシタ、サウスルト云フト直グソレヲ打殺シテ宜イカドウカト云フコトハ是ハ疑問ニナルガ、ソレハ打殺シテモ宜イゾト云フコトヲ此處ニハッキリ書イテアル、サウ云フコトニナルノデアリマス、ソレカラ第二段ト致シマシテハ、サウ云フ獨逸ノ刑法ノ五十三條見タヤウニ抽象的ノ規定デハ適當デナイ、此一條ニ睨ンデアルヤウナ場合ニ防衛者ガ躊躇スルコ

トナク、是デ正當ノ防衛ガ出來ルト云フ理解ヲ持ツガ爲ニハ、斯ウ云フ風ナ具體的ニスル方ガ適當デアアル、抽象的ノ規定デハ面白クナイノデアルト云フコトカラ此案ガ出テ居ルノデアリマスカラ、獨逸ノ見タヤウニシヤウト云フ考ヘハナイノデアリマス

●山岡萬之助君 只今政府委員ノ御答ニナ

リマシタノハ其前段ノ強盜ニ關スル點デアリマスガ、強盜ガ被害者ノ身體ニ對スル現在ノ危險ノ行動ヲ執ッテ場合ニハ、ソレハ勿論第一條デ防衛權ガ成立ツガ、是ハ問題ニハナラナイ、私ハソレダカラシテ強盜ノ本質的ニ來テ、暴行脅迫ノ態度ニ強盜ガ出デタ、身體ヲ傷害スルトカ云フヤウナコトハ勿論ナク、今一ツ最モハッキリシタコトヲ申シマスレバ脅迫ダケデス、脅迫ダケヲシタ時ニ防衛權ガ成立タヌコトハ、是ハ私ハ此條文デ成立タヌモノナリト考ヘマス、即チ金ヲ出セ、金ヲ出サナケレバ殺スゾト言ヘバ、ソレガ直ニ身體ニ對スル現在ノ危險ト云フコトニナリマスカ、私ハナラヌト思フ、此點ヲ伺フノデアリマス、更ニ防衛權ハ此本案ニ依レバ殺傷スルノデアアルカラ非常ニ重イカラ、ソレデ此條文ハヤカマシクスル必要ガアルト云フ、斯フ云フ御説明デアリマスガ、ソレヲ伺ヒタイ、防衛權ヲ行使ス

ルコトヲ……兎ニ角防衛權ノ本體ハ人ヲ殺傷スルト云フコトガ先ヅ其大體デヤナイカト思フ、防衛權ヲ行使スルト云フコトヲ、殺傷ニマデ行カナイト云フコトナラバ、是コソハ規定ハ要ラナイト思フ、人ノ物ヲ取ル、取戻シタカラト云ッテ所有權ノ發動デアアル、家宅ヘ入ッテ來タ者ヲ押出シテシマウ、是モ家宅權ノ擁護デ當然ダ、權利ノ本質カラソレガ出來ル、其權利ノ本質カラ來ナイ場合ニ殺傷スル、此場合ニ初メテ刑法ノ規定ノ防衛權デ行カナケレバナラヌ、本體カラ行ケバ殺傷ト云フヤウナコトニ行カナケレバ何ニモ意味ヲナサスト思フ、ソレヲ防衛權ノ最モ特別ナル場合デアルト云フ御説明デアリマスガ、私ハソレハサウ思ハヌノデスガ、其點ハ如何デスカ、防衛權ヲ行使スルト云フ權利ノ本質カラ來ナイ場合ニドンナ暴行ガアルノデスカ、ソレモ伺ヒタイ

●政府委員(泉二新熊君) 何處マデモ山岡委員ノ御質問ハ山岡委員ノ學者トシテノ見解、即チ已ムヲ得ナイト云フコトハ害ノ程度ヲ問ハナイデ、必要デサヘアレバドンナコトヲヤッテモ宜イト云フ學說ヲ根據ニシテ御尋ニナルヤウニ私ハ受取レルノデアリマス、其點ハ根本ノ意見ガ、兎ニ角私ノ學究トシテノ意見ガ違フト云フコトハ申上デマ

セヌガ、サウ云フ反對説ガ兎ニ角アッテ疑問ニナッテ居ル爲ニ、此案ガ出來ル必要ヲ認メル一ツノ理由デアルト云フコトヲ申上

ガテ置キマス、ソレデ防衛ヲスル場合ニ殺傷マデ行キ得ル場合ハ無論アルケレドモ、總テノ場合ニ於テ殺傷マデ行ッテ宜シイト云フ風ニハ考ヘラレナイ、例ヘバ泥棒ノ取ッ

タ物ヲ取り返スニチョット擲リ付ケタダケデ済ムノニ殺ス、傷ケル、殺スト云フコトマデ行キマスルト、是ハ明ニ必要ノ程度ヲ

超エタ、已ムヲ得ズト云フコトヲ廣ク解釋シマシテモ、必要ノ程度ヲ超エタ防衛ニナ

ルノデ、三十六條ノ二項ニ當ルノデアリマス、正當防衛トシテ罰セズト云フコトニナラヌモノデアルト思フノデアリマス

●山岡萬之助君

只今泉二政府委員カラ學說ノ根據カラ云々ト云フヤウナ、私ハ學說ノ根據ト云フコトヲ申シテ一向御尋シテ居ルノデナイ、即チ強盜ガ脅迫ヲ爲シテ、ソレデ物取りヲスル時ニ此法文デ、此案ノ第一條第一項ニ依ッテ防衛權ガ成立ツト云フコト

ガ言ヘルノデアリマセウカ、言ヘナイノデアリマセウカト云フコトヲ承ルノデ、私一向自分ノ立前ト云フモノヲ土臺ニシテ伺ッテ居リマセヌノデアリマス、其點ノ御答ガアリマセヌデシタガ、ドンナコトデスカ

●政府委員(泉二新熊君) チョット唯今ノ御質問ノ點ヲモウ一度……

●山岡萬之助君

強盜ガ脅迫ヲ爲シテ物ヲ出セト云フコトヲ言ッタ場合、脅迫ノ方法ヲ以テ強盜ガ物取りヲスル場合、ソレニ對シテ防衛權ガ成立スルカシナイカ、刑法ノ三十六條第一項ニ於テ成立スルコトハ問題ニナラヌノデアリマス、唯本案ノ第一條第一項ニ於テ成立ツカドウカト云フコト、本

案第一條ニ依リマスレバ自己又ハ他人ノ生命ノ危險、ソレカラ身體ノ危險、脅迫サレタ

場合ニハ身體、生命ニモ危險ガナイ、又貞操ハ婦人ニ限ルカラ男子ノ例ヲ取ッテ申ス方ガ容易イノデゴザイマスカラ……ソレモ

マアナカラウト思フ、ソコデ脅迫シタル場合ニ身體ニハ危險ガナイ、ソレデ防衛ヲ排除スルト云フコトガナイカラ、此條文デハ

防衛權ガ成立タナイト私ハ信ズルノデアリマス、ソレハ如何デアリマセウカト云フコトヲ御尋シタノデアリマス

●政府委員(泉二新熊君)

脅迫ト云フコトハ生命ニ對スル脅迫モアリ、身體ニ對スル脅迫モアリ、自由ニ對スル脅迫モアリ、其他色々ナ害惡ヲ加ヘルト云フコトヲ以テ實質トスル所ノ脅迫ガアルノデアリマシテ、生命ニ對スル脅迫ノアル場合ニハ是其脅迫

ノ工合ニ依リ、狀況ニ依リマシテ脅迫ノ侵害ト認メル場合モアルダウト思フノデアリマス、其場合ガ直接刑法ノ方デ行クノデアラウト思フノデアリマスガ、例ヘバ兇器ヲ持ッテ夜間這入ッテ來タ、ソレダケデモ私

ハモウ身體或ハ生命ニ對スル現在ノ危險ガアルモノト感ズルコトハアルダウト思フノデアリマス、ソレヲ排除スル爲デアッテ、

又兇器ヲ出サヌケレバ殺スト言ッテ「ピストル」ヲ突付ケタ場合ト云フモノハ見テ居ラヌノデアリマス、サウ云フ場合デアリマス

ト是ハ普通ノ刑法ノ規定デ行クノデアリマス、刑法ノ規定デ行ッテ、サウシテ殺傷マ

デシテモサウ云フ場合ハ犯罪ニナラヌノデアリマス、是ハ刑法ノ規定デ其所迄ハッキリ言ヘナイヤウナ場合ニ多少疑問ガ生ズルカラ、其疑問ヲ解ク爲ニ明白ナ規定ヲ要ス

ルト、斯ウ云フ趣意デアアル譯デアリマス

●山岡萬之助君

少シ諄イヤウニナリマスケレドモ、ドウモ御答辯ガ私ノ問フテ居ルコトトドウモ少シ違ッテ居ル、何ト申シテ宜イカ、不十分ナヤウナ氣ガ致シマスノデ、甚ダ諄イヤウデアリマスガ今一度御尋ネ致シマス、今度ハ例ヲハッキリ致シマス、例ヘバ玩具ノ「ピストル」ヲ持ッテ來テサウシテ脅迫シタト云フ場合ニハ、ソレガ生命身

體ニ現在ノ危險ガアルト云フコトガ言ヘマスカ、言ヘマセヌカ、サウ云フ場合ヲ伺ヒマス、現在ノ危險……

●花井卓藏君

ソレニ牽聯スルノデスガ、斯ウ云フコトモ附加ヘテ見タイ、被害者ガ、其玩具ノ「ピストル」デアルト云フコトヲ信ゼズシテ、眞ノ「ピストル」デアルト思ッタト云フ場合ニ於テノ事例モ一ツ想像シテ御答ヘニナッタ方ガ宜カラウト思フ

●政府委員(泉二新熊君)

サウ云フ場合ニ玩具ノ「ピストル」ヲ持ッテ來テソレヲ突付ケタト云フヤウナ場合ニ付テハ、ソレハ本當ノ脅迫ニナリマスコトハ、被害者ガ本當ノ「ピストル」デアルト之ヲ考ヘタ時ニ初メデ本當ノ脅迫ニナルト思フノデアリマス、初メカラ其強盜ハ「ピストル」ノ如クニ装ッテ玩具ヲ持ッテ行ッタガ、被害者ガソレヲ初メカラ看破シテ居ッタト云フ場合ニハ、本當ノ脅迫ノ既遂ニハナラヌノデアリマス、既遂ナドト云フ言葉ヲ使フト又問題ヲ起スカモ知レマセヌガ、兎ニ角サウ云フ場合ニハ被害者ハ何等驚クコトハナイ、併シソレデモ強盜ノ未遂ト云フコトニナルコトハ是ハ又專門上ノ問題ニナル譯デアリマスガ、兎ニ角ソレハ未遂ニハナリマセセウガ兎ニ角被害者ノ方カラ言ヘバソレデハ生命ニ危險ガア

ルナドト云フコトヲ考ヘハシナイ、ソレニ拘ラズ慌テテ居ラタ爲ニソレヲ本當ノモノデアルカノ如ク考ヘタナドト云フ場合デアリマスト云フト、第二項ノ問題ニナルト思フノデアリマス、又此玩具ノ「ピストル」デハアルノダケレドモ、如何ニモ巧ミニ出來テ居ル、一見被害者ノ方デハソレヲ恐怖シタノデモ、狼狽シタノデモナイノダガ、普通ノ判斷ヲシテモソレガ本當ノ「ピストル」デアルト云フ風ニ見エタ、サウ云フ場合デアリマスト之ヲ脅迫ノ侵害ト見ルカドウカト云フコトハ學說ガ分レテ居ル、是ハ此法律ノ解釋ト致シマシテモ刑法ノ解釋ト致シマシテモ、同ジヤウニ各種ニ學說ガ分レテ居ルヤウデアリマス、私ハサウ云フ場合ニ普通ノ人ノ判斷ヲ以テシテモ、ソレヲ眞ノ「ピストル」ト見ラレタヤウナ狀態デアラナラバ、ソレハ眞ノ「ピストル」ヲ以テヤッタノト同ジヤウニ見テ眞ノ脅迫ト見ル、斯ウ云フ解釋ヲ採ッテ居リマス、ソコハ詰リ各ミ意見ノ相違カモ知レマセヌ、ソレハ唯意見ノ相違デアルト云フコトヲ、若シ相違ガアレバ申上ゲルヨリ仕方ガナイノデアリマス、又一方ノ說カラ申シマスト云フト、ソレヲ正當防衛トハ見ナイデ、所謂誤想防衛デアル、眞ノ脅迫、眞ノ侵害ガナイノダケレドモ、

ソレヲ眞ノ脅迫ト誤想シテヤッタ、サウ云フ行爲デアルカラ誤想防衛デアッテ、本當ノ正當防衛ニハナラヌケレドモ、犯罪ノナイ所ノ防衛デアルト云フコトニ解釋シヤウト云フコトニナッテ居リマス、其問題ハ特ニ此法律ニ付テノ問題デハナカラウト思フノデアリマス、私ハサウ云フ一般ノ問題マデズツ進メテ行キマスト云フト、正當防衛……刑法ニ書イテアル正當防衛ノ一般ノ條件ニ對スル總デノ學說上、爭ヒノアル問題マデモ委員ト政府委員トノ間ニ、斯ウ學究的ノ討論デモヤラヌケレバナラヌヤウナ風ニナッテ行キハシナイカト云フコトヲ處レマスガ、サウ云フ風ノ問題ハマア成ルベク一ツ避ケテ貫ヒタイと思ッテ居リマス

●山岡萬之助君 今御説明ニナツタコトハ、ドウモ理解ガ出來ヌノデアリマス、サウシテ學說上ノコトハ私ハ避ケマス、泉ニ政府委員ハ刑法ニ廣ク御研究ニナッテ居リマス方ダカラ、ドウモ御答モ學說ノ範圍ニ這入ッテ、誤想防衛ノ範圍ダトカ或ハドウトカ云フ、其方ニ御答ヘガナルノデアリマスガ、私ハ少シモ學說ヲ土臺ニシテ居リマセヌ、提案サレテ居リマス生命、身體ニ對スル現在ノ危險ト云フコトハ何ダト云フコトヲ伺ッテ居ルノデ、ソコデ現在ノ危險ト云フコトハ

現實ニ存シテ居ラナケレバナラヌ、被害者ノ方デ思ヒ違ヒシタコトハ、現在ノ危險ト云フコトハ言ヘナイト私ハ思フ、ソレダカラ其現在ノ危險ト云フコトハ抑、何ヲ言フノデアルカト云フコトヲ伺ヒマス、決シテ學究ナント云フコトノ議論ハ一ツモナイ、此處ニ出シテアル法文ヲ的確ニ解釋スルト云フコトハ必要デアル、其條文カラ、現行刑法三十六條トノ關係ヲ的確ニシテ置クト云フコトハ必要デ、ソレダケヲ承ハッテ居ルノデアリマス、議論セムガ爲ニ議論シテ居ルノデナイカラ、ソコヲ一ツサウデナイヤウニ御承知ヲ願ヒタイノデアリマス、ソコデ今ノ伺ッタ點ハ玩具ノ「ピストル」ヲ持ッテ居ルト、被害者ノ方デ考ヘレバ、第一條ノ一項ニ這入ルシ、被害者ノ方デ、ソレガ眞ノ「ピストル」ナリト考ヘレバ第一條ノ二項ニ這入ルト云フ意味デアル、サウ云フ場合ニハ第二項ニ行クト云フ意味デアリマスカ、私ノ考ヘル所ニ依レバ、現在ノ危險ト云フコトハ、何ト見テモ現實ニ……ソコニ誰カラ見テモ現實ニ危險ガナケレバナラヌ、ソレガ此場合ニ於テハ、外ノ條件ニ關係ナシニ、殺傷シテモ差支ナイト云フヤウニ、政府委員ノ御説明デハ此條文ハナルと思フノデアリマス、ソレデアリマスカラ、已ムヲ得

ザル場合トカ、人ヲ殺傷シタトカ云フコトヲ言ハヌダケガ、一般ノ防衛上ノ行爲ト變ッテ解釋ガ出來ルコトニナル、ソコデ犯人デナイ被害者ノ方デ、ソレガ爲ニ恐怖驚愕モシタト云フナラバ、二項デ以テ防衛權ハ成立チマセウガ、一項ノ防衛ニ於テハサウ云フ場合ガ成立タヌデハナイカ、現實ノ危險、現在ノ危險ト云フコトハ、矢張り現實存シテ居ラナケレバナラヌ、斯ウ思フノデアリマス、其點ダケ伺ヒタイ

●政府委員(泉ニ新熊君) 其點ヲ重ネテ申上ゲマスガ、現在ノ危險ト云フ言葉ノ解釋ハ、本當ニ「ピストル」ヲ持ッテ來テ威スト云フ場合デアラナラバ、モウ疑ヒハナイ、現在ノ危險ト云フコトニ疑ヒハナイ、唯ダ解釋上ノ疑問ニナリマスコトハ、誰見テモ本當ノ「ピストル」見タヤウニ巧ミニ裝ッテ居ル、實際ハ能ク調べテ見タラサウデナカッタト斯ウ云フ場合、是ガ普通ノ人ガ見タナラバ、此普通ノ狀況ニ於テ本當ノ「ピストル」ト認メルノガ無理ガナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘラレル場合ニ於キマシテ、矢張り客觀的ニ危險ガアルモノ、其危險ガ現在シテ居ルモノト云フ風ニ解釋スル人モアルノデアリマス、是ハ詰リ現行法ノ脅迫、侵害ト云フノモ同ジ解釋ニナル、學說ガ分レテ居ルノデア

リマシテ、ソコハ詰リ立法ノ際ニ總テノ此學說上ノ意見ノ相違ヲ全ク無クスルヤウナ立法ハムツカシイノデアリマシテ、ドンナニ書イテ置イテモ矢張りサウ云フ意見ノ相違ハアルノデアリマシテ、ソレハ判例ニ委スヨリ仕方ガナカラウト思フノデアリマス、私ハ兎ニ角普通一般ノ、大體ノ考カラ申シマス云フト、巧ミニ裝ハレテ居テサウシテソレガ本當ノ「ビストル」ト同ジヤウニ、誰ガ見テモ其時ニハ見エルト云フ狀態ナレバ此中ニ入ルト云フ説ヲ採テ宜シイト思フテ居ルノデアリマス

●委員長(伯爵二荒芳徳君) チョット申上

デマス、只今ノ山岡委員カラノ御話ニ對シテ泉二政府委員カラ、種々學說ニモ互ッテ御答辯ノヤウデアリマス、山岡委員ハ斯ク斯クノ條文ニ對シテハ、政府當局ガ此法律案ヲ提出シテ、政府トシテドウ解釋ヲシテ居ルカト云フコトヲ御聽キニナッテ居ル譯デハアリマセヌカ

●山岡萬之助君 サウデス

●委員長(伯爵二荒芳徳君)

サウデアリマスナラ例ヘバ……一ツノ御聽キニナッテ戴イタラドウデスカ、サウシテ之ヲ如何ニ政府ガ見ルカ、又此條文ハ斯ウ云フ所ガ缺ケテ居ルヤウニ見エスケレドモ、此缺

ケテ居ル所ハドウ補フカ、若クハ其缺ケテ居ル所ハ缺ケテ居ル所トシテ、此法律案デ暫ク此程度デ其缺ヲ補ヒ得ルト思フト云フ、斯ウ云フ御答辯ノ程度デ宜シイデヤナイドスカ、一ツノ御質問ヲ戴キ、是ニ政府委員ガ御答ヘニナルヤウニ致シテハドウデスカ

●山岡萬之助君 段々分ッテ來マシタ

●花井卓藏君 ドウデセウ……速記ハ止メテ下サイ

●委員長(伯爵二荒芳徳君) チョット速記ヲ止メテ下サイ

〔速記中止〕

●委員長(伯爵二荒芳徳君) 速記ヲ始メテ……

●山岡萬之助君 只今泉二政府委員ノ御答

ニナッタ玩具ノ「ビストル」ト思ッテ居タ場合ニ、被害者ノ方デソレハサウデナイ、其ノ「ビストル」ナリト考ヘルト一項デアルト云フ御説明デアリマシタガ、ソレガ即チ二項ノ現在ノ危險アルニ非ズト雖モ行爲者ガ云々ニ依ッテ現場ニ於テ犯人ヲ殺傷スル、現在ノ危險アルニ非ズト雖モ「ハサウ」云フ場合ヲ想像シナケレバ出テ來ナイト思フ、固ヨリサウ云フ場合ノ手段方法デナク、他ノ場合ヲ誤解シテモ宜イデスケレドモ、色ミノ

點ヲ誤解シテ客觀的ニ見レバ事實ハナイ、併シ被害者ノ方デ、即チ防衛權ヲ行使シタ方カラ見レバドウモ危險ニ感ジタ、斯ウ思フ場合ガ來ル、即チソコニ「現在ノ危險アルニ非ズト雖モ」ガ的確ニ當筈マルヤウニ思ヒマス

●政府委員(泉二新熊君) ソレハ御解釋通

リニナッテ宜イダラウト思ヒマス、私ハデスネ、サウ其被害者ノ方デ本當ノモノダト思ヒマシテ、玩具デアッテモ何時デモ一項ニ當ルト云フコトヲ申上ゲタノデハナクテ、極ク恐怖、驚愕、興奮、又ハ狼狽等ノ爲ニ初メハ玩具ノ「ビストル」ヲ本當ノモノニシテ殺傷スルト云フト第二項ニ當ルノデ、サウデナクトモ誰ガ見テモ餘リ巧ミデ、即チ裁判官ガ見テモ成程其時ニ被害者ガ見テ本當ノ「ビストル」ダト思フタノモ無理ガナイト、斯ウ云フコトニ判斷セラレルヤウナ狀況デアッタナラバ、ソレハ寧ロ一項ニ入レテ宜イダラウト云フ、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ居ルノデスケレドモ、何方ニナッタ所ガ兎ニ角罰セヌト云フ點ニ於テハ同様ダラウト思フ

●山岡萬之助君 其點ハ其邊ニ止メマシ

テ、次ニ第二條以下ニ結局互リマスガ、總括シテ伺ヒタイノデアリマス、前回ノ御

説明ニナッタ所ニ依ッテ、此前科ノアリマス者ナドニ付テ刑期ガ如何ニモ低イモノガアリ、釋放後忽チ戻テ來ルコトニナッテ居ルカラ刑ヲ強メナケレバナラス、此事ハ私モ頗ル同感デアリマシテ、今日斯ノ如キ重キ刑罰ヲ以テ臨マナケレバナラスヤウニ窃盜強盜、財産罪ニ對スル關係ガナリマシタコトハ、社會ノ色ミナ關係モアリマセウシ、又色ミナ事情モアリマセウガ、斯クナリマシタ以上ハ行刑ニ依ッテ、或ハ其他ノ方法ニ依ッテ行ク必要ガアルコトデアリマス、唯此少年法ニ於テハ不定期刑ヲ認メテ居リマスガ、此二條以下ノ常習者ニ對シテ不定期刑ヲ以テ臨ムコトガ適當デハナイデアラウカ、斯ノ如キ定期刑ヲ以テ裁判スルト云フコトヨリモ、其方ガユトリガアッテ非常ニ本人ニ對シテモ、其他ノ方面ニ對シテモ好イ結果ニナラウト思フノデスカ、ソコラノ邊ハドウナリマスカ

●政府委員(泉二新熊君)

是ハ御尤ノ御質問ト思ヒマスガ、此案デモ少年法ノ適用ヲ排除スル考ヘハ少シモナイ、詰リ短期ヲ、斯ウ云フ場合ニハ重クスルト云フダケノ話デアリマスカラ、此刑期ノ範圍内ニ於テ、少年法ニ依ッテ十八歳未満ノ者ニ對シテハ不定期刑ヲ言渡ス、斯ウ云フコトニナルカ

ト思ヒマス

●山岡萬之助君 私ハマアサウ云フ所ニ重キヲ置イテ、サウ云フコトヲ御尋ヲシタノデハナイノデ、少年法モ不定期刑デアルカラ……不定期刑ト云フモノガ我ガ刑法ノ刑罰規定ノ中ニアルカラ、常習犯ニ對シテハ不定期刑ヲ以テ臨ンダ方ガ適當デナイカ、斯ウ云フ意味ノ質問デアリマス

●政府委員(泉二新熊君) 只今御質問ノ趣旨ヲチョット誤解シテ居リマシタガ、其御質問ハ一層御尤ノ御質問デアリマシテ、此立案ノ經過ニ於キマシテハ不定期刑ノ案ガ出來タノデアリマス、唯不定期刑ニ致シマスト云フト、ドウシテモ教化的ノ制度ヲ執ラナケレバナラスト云フコトニナツテ來マス、今日デモ是ハ行刑上御承知ノヤウニ教化的ノ文書ヲ出來得ル限り入レテ居リマスケレドモ、不定期刑ノ制度ニナリマスト一層其必要ヲ感ズル、今日ノ設備ヲ十分改メテ行カナケレバ間ニ合ハヌト云フヤウナ狀況ニアルノデアリマスカラ、ソレガ爲ニハ餘程今日ノ財政上カラ申シマシテ、大キナ豫算ヲ必要トスルヤウナコトニナルノデ、チヨット此際適當デナカラウ、何レ刑法改正事業ノ完成スル際ニハ此案ノヤウナ事實ヲ加味イタシマシテ、一般的ニ不定期刑ノ制度

ヲ認メルコトニナル筈デアリマス、其時マデ我慢シテ、今日マデノ狀況デハ此程度ニ止メテ置クコトガ適當デアル、斯ウ云フコトヲ考ヘマシテ、不定期刑ト云フコトニハシナカッタノデアリマス

●花井卓藏君 只今山岡君ノ御尋ニナツタ點ニ付テ、將來ノ立法ノ基準ヲ殘ス爲ニ、司法大臣ニ御尋ネ致シテ置キマス、不定期刑ノ制度ヲ採用スルト云フコトニ反對ハナイノデスカ、如何デスカ

●國務大臣(子爵渡邊千冬君) 反對ハアリマセヌ

●花井卓藏君 而シテ貴族院及法制審議會ニ於テハ、不定期刑ノ制度ヲ採用スベシトノ意見ヲ政府ニ進言シテ居リマスガ、是ハ必ズ刑法改正ノ立法ニ於テハ、豫算ノ如何ニ拘ハラズ採用セラルル御考デアリマスカ

●國務大臣(子爵渡邊千冬君) 不定期刑ヲ採用イタスコトニ付テハ、其趣旨ニ於テ異存ノナイト云フコトハ申上ゲタ通りデアリマス、併ナガラ之ヲ何時採用スルカト云フヤウナコトハ、豫算ノ關係等モ考慮シナケレバナライコトデアリマスカラ、直ニ貴族院等ニ於テ、不定期刑ヲ採用スベシト云フ議論ガ起ツタ時ニハ必ズ是ニ賛成スルト云フコトヲ、今カラ御約束ヲ致シテ置クコト

ハ出來マセヌケレドモ、不定期刑ヲ採用シ得ル場合ニハ、出來得ルダケ採用シ得ルヤウニ努メルト云フヤウナ御約束ナラバ、私トシテハ御約束ガ出來ルノデアリマス

●花井卓藏君 山岡君ノ質問ノ趣旨モ、政府委員ノ答ヘノ趣旨モ、學者モ、實際家モ、第二條ノ規定ノ如キ場合ニ於テ、不定期刑ヲ採用センケレバナラスト云フコトヲ、言ヒ出シテ居ルヤウナコト考ヘテ居タノデアリマス、貴族院ガ其希望ヲ有シテ居タ、而シテ其希望ヲ諒トシテ立法ヲスルト云フコトヲ時ノ司法大臣ガ明白ニ答ヘラレテ居ル、又法制審議會ハ不定期刑ヲ採用スベシト云フ事柄ヲ議決シタ、其旨ヲ體シテ其制度ニ依リタイノデアアルガ、此暫定的ノ法律ノ場合ニ於テ、多大ナル豫算ヲ要スルコトヲ考慮シナケレバナラス、併ナガラ盜犯ノ防止ニ付テハ聊カニテモ效果ノアル道ヲ歩マナケレバナラス、今ハ已ムコトヲ得ズシテ刑ヲ嚴シクスルト云フコトニ満足シテ居ルノデアアルガ、必ズ刑法改正ノ曉ニ於テハ主義トシテハ不定期刑ヲ採用スル、斯カル場合ニ於テ豫算云々ハ拘ハル所デハナイノデアアルト云フダケノ御言明ヲナサツテ一向差支ナイト思フノデアリマス、寧ロナサツタ方ガ宜クハナイノデスカ

●國務大臣(子爵渡邊千冬君) 不定期刑ノコトニ付キマシテハ、花井君ハ十分御承知ノコトデアリマスケレドモ、甚ダ失禮ナ申シ方デアルカモ知レマセヌケレドモ、マダ不定期刑ト豫算トノ關係ヲ十分御考ヘニナツタコトノナイ委員ノ方モアルカモ知レマセヌカラ、何故ニ私ガ豫算トノ關係ニ於テ考量シナケレバナラスト云フコトヲ申シタカラ一言申述ベテ置キタイト思ヒマス、此盜犯防止ニ付テモ委員會ニ於テハ不定期刑ヲ採用スベシト云フコトガ決議ニナツテ居ルノデアリマシテ、斯ノ如ク非常ナ累犯性ヲ持ッテ居ル所ノ犯罪者ヲ何年入レテ置ケバソレデ改悛セラレテ、社會ニ出テ良民トナルト云フコトヲ考ヘラレナイ場合ニ、不定期刑ヲ採用スルコトガ適當デアルト云フコトニハ、私ト雖モ無論サウデアルト思ッテ居リマス、唯今日ニ於テハ、刑務所ノ仕組ガ皆ソレノ種類ニ依ッテ分ケテアルノデアリマシテ、或ハ長期刑ヲ入レル、或ハ累犯ノ者ヲ入レル、或ハ少年ノ者ヲ入レル、或ハ女囚ノミヲ入レルト云フヤウニ、分類的ニ刑務所ヲ設ケル制度ノ下ニ於キマシテハ、不定期刑ト云フモノヲ設ケレバ、又サウ云フ者ノミヲ收容スル刑務所ヲ造ラナケレバナラスノデアリマス、ソレカラモ序ニ

申上ゲタイト思ヒマスガ、不定期刑ニハ必
ズソレニ伴ッテ之ヲ如何ナル場合ニ釋放ス
ルト云フコトヲ決定スル爲ニ、委員會ノ如
キモノヲ作ラナケレバナラヌ、サウスレバ
其委員會ヲ維持シテ行ク費用ト云フモノガ
要ルノデアリマスカラ、是亦豫算ニ關係ガ
アルノデアリマス、從テ不定期刑ヲ設ケル
ト云フコトハ、主義ニ於テハ私ハ甚ダ贊成
シテ居ルノデアリマス、之ヲ言明スルノニ
少シモ躊躇イタシマセヌケレドモ、今日ノ
財政狀態ハ皆ナ御承知ノ通りノ譯デアリマ
スカラ、豫算ノ關係ヲ顧慮セズシテ不定期
刑ニ向ッテ邁進スルト云フ程ノ勇氣モ持ッテ
居ラヌノデアリマス、無論財政ニ餘裕ガア
レバ不定期刑トイフモノノ制度ヲ設クルト
云フコトニ、私ハ少シモ異存ノナイノミナ
ラズ、其實行ヲ見ル爲ニハ力モ盡シテ見タ
イト考ヘテ居リマス

●**花井卓藏君** 少シ私ノ御尋シタ趣旨ガ徹
底シテ居ナイノデハナイカト思ヒマスガ、
私ハ刑法ノ改正デ、即チ刑法ノ全部ノ法典、
全編ノ改正セラルル場合ニ於テハ、不定期
刑ハ採用セラルルヤ否ヤト云フコトヲ問フ
テ、然リト云フ答ヲ得タイノデアッテ、而シ
テ豫算云々ト云フヤウナコトヲ此間ニ挿ム
ト云フト、如何ニ必要ナル立法デモ算盤ヲ

考ヘナケレバ出來ナイト云フ事柄ニナッテ
ハ面白クナイカラ、サウ云フコトナシニ、
刑法ハ主義トシテ不定期刑ヲ採用スル考ヘ
ナリヤ、刑法立法ノ際ニハ此主義ヲ採用ス
ルヤ否ヤ、而シテ然リト云フ答ヲ得タイノ
デアリマス

●**國務大臣(子爵渡邊千冬君)** 私ハ少
シ……

●**花井卓藏君** チョット待ッテ下サイ、速記
ヲ止メテ……

●**委員長(伯爵二荒芳徳君)** 速記ヲ止メ
テ……

(速記中止)
●**委員長(伯爵二荒芳徳君)** ソレデヤ速記
ヲ始メテ……

●**國務大臣(子爵渡邊千冬君)** 只今花井委
員カラ御質問ノアリマシタ刑法法典編纂ノ
場合ニ不定期刑ノ制度ヲ採用スルコトニ付
テ政府ハドウ云フ考ヲ持ッテ居ルカ、斯ウ云
フ御尋ガアッタノデアリマスケレドモ、不
定期刑ノ制度ヲ採用スルコトニ少シモ異存
ハナイト云フコトヲ茲ニ言明ヲ致シテ置キ
マス、ソレカラ正當防衛權ノ規定ヲ作ル場
合ニ必要性ヲ相當性ニ變ヘルコトニ付テモ
異存ハアリマセヌ

●**花井卓藏君** ソレデ大體私ノ質問ノ趣旨

ハ能ク分リマシタ

●**山岡萬之助君** 花井委員ト政府トノ間ノ
質問應答デ不定期刑ノコトハ大體本員理解
イタシマシタガ、唯私ハ今一ツ御答ヲ得テ置
キタイ點ガアル、常習者ノ處置トシテ條文
ハ三條ホカアリマセヌケレドモ、蓋シ之ニ
依ッテ扱ハレル所ノ刑務所ニ收容サレル人
員ニ付テハ非常ナ大キナ數ニナラナケレバ
ナラヌ、ソレデアリマスルカラシテ此法文
ノ働キト云フモノハ、是ハモウ、ナカ／＼
廣イノデアリマス、サウナリマスルト云フ
ト豫算ガ無イカラ、マア暫ク刑法改正マデ
待ッタ方ガ宜イト云フコトニナルノデアリ
マス、勿論不定期刑ヲ施行イタシマスルニ
ハ色々ノ點ニ於テ豫算ノ多少要ル點ハ是ハ
當然ト存ジマスケレドモ、少年法ヲ既ニ施
行シテ不定期刑ヲ宣告シ、而シテソレヲ現
實動カシテ居ル、デ不定期刑ト云フモノハ
今日我國ニ於テ最早實驗ト云フモノモ或度
合マデ出來テ來タ、サウスルト云フト此常
習者ニ對シマシテハ三年以上ト云フ強イ刑
ヲ科シテ、而シテドレダケノ不定期刑ニシ
マスカ、五年位ニ處分シマスカ、斯ウ云フ
風ニナルト云フト、恐ラク不定期刑ト云フ
モノハ其邊マデ大抵ノ場合ガ間ニ合ッテ
來ル、サウシマスレバ不定期刑ヲ以テ宣告

イタセバ、行刑ノ衝ニ當ル人ハ、ソレガ適
當ニ改善サレタト認メレバ釋放スレバ宜イ
シ、改善サレヌト見レバソレ迄置イテ置ク、
定期刑ニナルト云フト改善サレタト思ッテ
モ假釋放ノ條件ニ適ハナケレバ出スコトガ
出來ナイ、又ドウモ是ハ今出シテハ困ルト
思ッテモ期間ガ來レバ必ズ出サナケレバナ
ラヌ、此點ダケデモ既ニ法律ヲ改メテ、行
刑ノ衝ニ當ル者ニ斟酌サセルコトガ量刑
上最モ適當デアル、サウ云フ次第デアリ、
且ツ今日果犯者ノ行刑ト云フモノハ司法大
臣ノ御説明ニ依ッテモ別ノ場所デヤッテ居ル
ノデアリマスカラ、其中ニ定期刑、不定期
刑、斯ウ二ツニ分ケレバ宜イ譯デアル、サ
ウシテ今申上ゲマシタヤウナ非常ナ便宜ナ
動シ方ガ出來ルノデアリマス、今日ノ行刑
ハ私申上ゲル迄モナク、全ク改善主義ヲ執
テ居リマスル以上ハ、法制ノ上ニ於テ、ソ
レダケノコトヲ現ハシテ置クト云フコトガ
聽テ刑法ヲ改正シ豫算ヲ得テ行ク前提ト
ナッテ、其場合ヘ行ッテ尙ホ一歩進ンダ實效
ヲ擧ゲル所ノ準備トナルト私ハ考ヘル、今
日ノ豫算ノ範圍内ニ於テモ可ナリノ效果ア
ル仕事ガ出來ルト私ハ思フノデアリマス、
政府ノ御考ハドンナモノデセウカ

●**政府委員(泉二新熊君)** 此二條以下ノ規

定ガ出來マシタト致シマシテ、刑ノ量定ガドウ云フコトニナッテ行クダラウカ、平均期間ガドノ位ニナルダラウカト云フコトハ、只今確實ニ豫測ハ出來マセヌガ、從來ノ經驗カラ申シマスと云フト、ドウモ短期ガ三年ト云フ場合ニ、ソレヨリズツト長ク五年ト云フモノガ平均ニナルダラウト云フコトハ、チョット私ハ豫想シナイノデ、マア五年平均ニハナルマイト思ヒマス、今マデノ三年未滿デアッタモノガ五年迄ノ平均ニナラウトハ考ヘテ居リマセヌ、今マデ三年以上ノモノハソレ迄デアリマスガ、今マデ三年未滿デアッタモノガ五年マデ行カウト云フコトニハ考ヘ得ラレナイノデアリマス、ソレカラ此規定ガドレ程、其間ニ適用サレルカト云フコトモ實ハマダ確實ニ豫測ハ出來マセヌ、ト申シマスルノハ茲ニ「常習トシテ」ト云フ條件ガカブサッテ居リマシテ、此常習性ノ認定ハ裁判所ノ自由裁量ニ任サレテ居ルノデアリマス、サウシテ殊ニ第三條ヲ見マスと云フト、既ニ三回以上六月ノ懲役以上ノ刑ニ處セラレタ者ガ、今度犯罪ヲシテモ當然常習者トハ見ナイ、外國ノ立法例デアリマスレバ、斯ウ云フ場合ハ當然常習ト認定スルコトニナッテ居リマスケレドモ、此案デハサウナッテ居ラナイ、矢張り第

三條ノヤウナモノニ對シテモ、常習者デアるか否ヤト云フコトハ裁判所ガ認定スルト云フコトニナッテ居リマス、餘程常習性ノ強イ者デナケレバ此法律ノ適用ハシナイコトニナルダラウト思ヒマス、ソコデサウ云フ常習性ノ強イ者デアリマスと云フト、假ニ不定期刑ニ致シマシテモ、サウ早く出セルモノデハナイダラウト思ヒマス、サウ云フ常習性ノ強イ者デアッテモ、尙ホ早く出サウトスレバ三分ノ一ノ假釋放デ行ク餘地ガアルノデアリマス、三年トスレバ假釋放ハ一年デ御承知ノヤウニ出來ル譯デアリマス、其以下デ出セルヤウナ者ニ對シテ、常習者トシテ此法律ヲ適用スルコトハ恐ラク無カラウト思フノデアリマス、デサウ云フ見地カラ致シマシテ、ソレハ不定期刑ノ方ガ私共ハ希望デハアリマスケレドモ、此法律ノ適用ノ範圍ニ於テハ不定期刑ニシナイカラト云ッテ、非常ニ困ルト云フコトモナカラウト思フ、要スルニ此法律ト致シマシテハ御手許ニ差上ゲテ置キマシタ参考書ノ一番終リノ方ニアリマスルヤウニ、窃盜トカ、強盜トカ云フモノガ刑務所ヲ出デカラ再犯ヲシテ刑務所ニ再ビ入ッテ來ルモノハ窃盜ハ八箇月ト十三日デ繰返ス、強盜ハ十一箇月ト二十一日デ繰返スト云フ狀態デ、

是デハ社會ノ脅威ニナルカラ、モウ少シ長クシナケレバナルマイト云フコトガ寧ロ必要デアッタノデアリマス、マア大體サウ云フ種類ノモノヲ睨ンデ居ルノデアリマスカラ此定期刑ニシテ假釋放ヲ許スト云フヨリモ以上ニ、モット短クシテ出セルモノガアリハセヌカト云フコトヲ氣遣フ必要ハナイノデハアルマイカ、ソレカラ更ニ一方ニ於キマシテハ兎ニ角、今日ノ財政狀態デハ不定期刑ヲ採用スルト云フコトニナレバ、費用ガ掛ッテ困ルデアラウト云フコトハ先程モ申上ゲタ通りデアリマス、今日ノ少年法ハ御承知ノヤウニ不定期刑ヲ採ッテ居リマスケレドモ、アレガ適當ニ今日行ハレテ居ルカト申シマスと云フト、實ハ少年法ヲ全國ニ施クコトガ出來ナイ、豫算ノ關係上今デハ御承知ノヤウニ東京ト大阪ト二箇所シカナイ、アンナ風ダッタバ、初メカラ全國ニ少年法ヲ施行スルコトガ出來ル時期ヲ待ッテ施行スル方ガ寧ロ宜カッタ、今日ハ二箇所ダケ施行サレテ居ル、不完全デチョット動キガツカヌヤウナ狀態デアル、全國不畫一狀態デアル、矢張り是等モ豫算ノ關係上已ムヲ得ナイト云フコトデ其儘ニナッテ居ル、是ハ山岡委員ガ刑事局長、行刑局長時代カラ矢張りモット全國ニ擴ゲタイト云フ御考ガ

アッタ筈ダト思ヒマスガ、矢張りムツカシカッタ、今日モムツカシイ狀態ニアルノデ、洵ニ困ッテ居ルノデアル、ノミナラズ刑務委員會ト云フ言葉ハ……サウ云フ言葉ヲ使ッテ宜イカドウカ知リマセヌガ、兎ニ角、亞米利加アタリデヤッテ居リマスルノハ「パールボード」ト云フモノガアリマス、サウ云フ制度ヲ今度新ラシク不定期ヲ設クル場合ニハ、矢張り設置シナクチャナルマイト云フコトヤ、ソレカラ更ニ教化設備ヲ充實シナケレバ今日ノ儘デ不定期制ヲ一般的ニ採用シテ行クト云フコトハ兎ニ角無理デアラウ、兎ニ角暫定的法律トシテ當分忍ブコトニシヤウト斯ウ云フコトガ此定期刑デ満足シタ理由デアリマス

●山岡萬之助君 長時間ニ亘リマシテ質問ヲ致シ御答辯ヲ得マシテ洵ニ有難ウゴザイマス、是デ私ノ質問ハ打切りマス

●政府委員(泉ニ新熊君) 富谷委員カラ艦ト云フモノニ入ルモノガドノ位アルカ、ドウ云フ種類ノモノガ艦ノ中ニ入ルカト云フ御質問ガアリマシタ、ソレヲ海軍當局ノ方デ調べテ貰ヒマシタ所、此海軍ニハ軍令デ艦船令ト云フモノガ出來テ居リマシテ、其規定デ軍艦ト申シマスモノハ、戰艦、巡洋艦、巡洋艦、航空母艦、潜水母艦、敷設

艦、急設網艦、海防艦、砲艦、ソレカラ驅逐艦、潜水艦、ソレカラ運送艦、碎氷艦、測量艦、標的艦、練習特務艦等ガ此艦ト云

フ中ニ入ルコトニナッテ居ル、ソレカラ軍艦ニ積ンデ居ル「ランチ」ノヤウナモノ、ア、

云フモノハ軍艦ノ一部デアルケレドモ、アレガ軍艦ヲ離レテ獨立シタラバ軍艦トハ言

ハナイ、但シソレハ國際禮儀上軍艦旗ヲ立

テテ行ケバ「ランチ」デモ軍艦ト同様ナ取扱

ヒヲ受ケルト云フコトニナリマスケレドモ、獨立シテ行ケバ艦ノ種類ニ這入ラナイ、

斯ウ云フコトデアリマス
●委員長(伯爵二荒芳徳君) 速記ヲ止メ
テ……

〔速記中止〕
●委員長(伯爵二荒芳徳君) ソレデハ速記

ヲ始メテ下サイ、御質疑モ終リマシタ存

ジマスカラ、本法律案ニ付キマシテ、此委員會ト致シマシテハ、可否ヲ決定イタシタ

イト存ジマス
●花井卓藏君 本案ニ賛成イタシマス

●委員長(伯爵二荒芳徳君) 花井委員カラ御賛成ノ御意思ノ發表ガアリマシタガ……

〔賛成異議ナシ〕ト呼フ者アリ
●委員長(伯爵二荒芳徳君) 御異議ナイト認メマス、ソレデハ本案ハ本委員會ニ於キ

マシテハ可決イタシマシタ、本日ハ是ニテ散會イタシマス

午前十一時四十二分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵二荒 芳徳君

副委員長 花井 卓藏君

委員

侯爵細川 護立君

子爵曾我 祐邦君

富谷銚太郎君

男爵渡邊 修二君

山岡萬之助君

大津淳一郎君

關 直彦君

國務大臣

司法大臣 子爵渡邊 千冬君

政府委員

司法省刑事局長 泉二 新熊君

昭和五年五月一日印刷

昭和五年五月二日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局